



### ハンドドリップ体験

美味しいコーヒーの淹れ方を体験しませんか  
～ゆっくりとレコードを聴きながら～

3月23日(木) 16:00～17:30  
健康支援センター

席や道具の用意があるので事前に参加連絡して頂けると助かります。もちろん当日参加OKです。好きなレコードの持ち込み歓迎です。赤井川村たすけあい隊事務局 赤井川村社会福祉協議会内 (34-6068) インスタグラムDMでも連絡可能です。

村の平和を守ってくれている  
あの方がレクチャーしてくれま

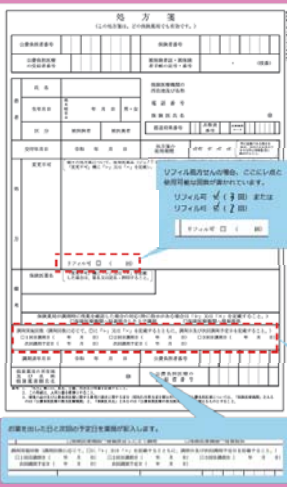
# お知らせ

3/23 (木) 16:00～17:30に健康支援センターでハンドドリップ体験を行います。時間内であればどの時間にきていただいても構いません。レコードを聴きながらゆっくりとした時間を過ごしませんか？ハンドドリップをレクチャーしてくれるのは、コーヒースムリエをお持ちの村の平和を守ってくれている方です。集まることによって新たな顔の見える関係ができ、支え合い助け合いの関係ができたなら嬉しいな～って思っています。集まりの中からこれからこんなことしたいな～、こんなあったらいいな～、自分や周りがこんな事で困っている等のお話が聞けたらとも思っています。どうかよろしくお願ひします。聴きたいレコードを持ってきてくれたら嬉しいです。



### 小話 お薬の新しい受け取り方、リフィル処方箋って知ってましたか？

最近色々な情報がインターネット上に溢れていて、調べたい事を検索すると膨大な量の情報が出てきますよね。つい先日ネットサーフィンをしていたらリフィル処方箋たるものを発見しました。令和4年4月から始まっているらしいのですが、医療機関で処方せんを毎回もらわず、同じ処方せんを薬局で最大3回まで繰り返し使用できるそうです。ただし病状が安定し、通院をしばらく控えても大丈夫と医師が判断した場合が対象みたいですよ。また、リフィル処方せんの使用1回当たりの投薬期間と総投薬期間について、制度上の規定は原則ないそうですが、医師が患者の病状等を踏まえて個別に判断するそうですよ。リフィル処方せんによる投薬期間が終了する前でも、病状が変化した場合等に医療機関を受診できます。患者さんにとっては、医療機関を受診する回数が少なくなり、通院負担を軽減できるメリットがありますね。利用する際は、いくつか留意点があるのでかかりつけの医療機関や調剤薬局に相談したほうが良いと思います。



### あとがき

今年度いよいよアプリを稼働させることができましたが、アプリを通じてボランティアへの関心や担い手に繋がり、生きがいや助け合いの輪が広がって、笑顔が溢れる村になってくれたら素晴らしいと感じています。今後ボランティアの心や生きがい・喜び・楽しみを上手く伝えていけるような取り組みをどんどんしていきたいと思っています。今年は、本気でピクピクしていますが、厄払いもしっかりと行ったので全力で笑顔が溢れる地域づくりをしていきたいと思っています。

発行日  
発行・編集

令和5年3月15日  
赤井川村たすけあい隊  
事務局：赤井川村社会福祉協議会  
〒046-0501  
余市郡赤井川村字赤井川318番地1  
赤井川村デイサービス内  
TEL 0135-34-6068  
E-mail: hirano@akaigawa-shakyo.or.jp



北海道情報大学の学生と一緒に考え作ってくれた、ボランティア調整アプリが完成しました。

## ★ あかいがわボランティア

友だち 22



トーク



投稿

No.17

赤井川村生活支援体制整備協議体(赤井川村たすけあい隊)  
赤井川村/赤井川村社会福祉協議会



# あかがわボランティアアプリ

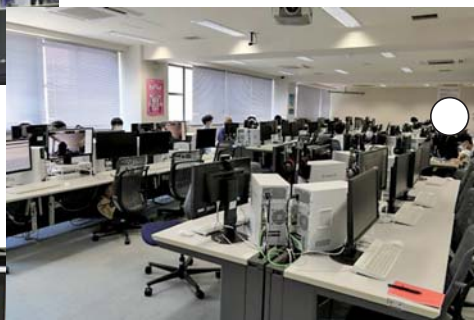
北海道情報大学の学生が、わかりやすく使いやすいアプリが良いな～という願いに応じてくれて、素敵なアプリを作ってくれました。

完成し稼働中です



北海道情報大学  
×  
たすけあい隊  
意見交換

学生からの質問もあり、活発な意見交換になりました。

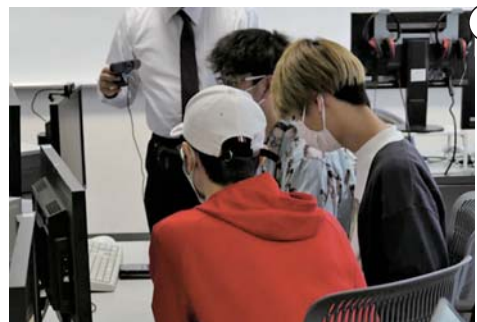


普段あまり関わりのない大学生とのZOOMを使っての意見交換



アプリを使う人が使いやすいわかりやすいものにするため、協議体の中でボランティアを調整するうえで、必要な最低限の情報や困っていることを共有し話し合いまとめました。

3つのグループに分かれて真剣に考えてくれました。完成したアプリは3つとも特色があり、どれもたすけあい隊の意見を取り入れてくれた素敵なものでした。



今回3つのうちいち早く稼働させることができたのは、LINE BOTを活用したLINEアプリになります。シンプルかつ迅速に皆さんに連絡できるアプリです。



LINE BOT (ラインボット) はCHATBOT(チャットボット) の1つです。CHAT BOTは、自動でユーザーと会話などができるコミュニケーションロボットです。LINE BOTはLINE上で作動するCHATBOTなので、LINEBOTと呼ばれています。



登録・使い方は別紙でご紹介



## 地域の居場所～トランプカフェ

新型コロナウイルスの感染が始まって3年が立ち、ようやく今までの日常が戻りつつある今日この頃ですが、まだまだ感染が落ち着かない1年数ヶ月前、コロナ禍でも社会参加のためにトランプカフェがはじまりました。色々な地域の活動に参加されてきた方が、高齢になり積極的に動くことが難しくなり、周りに迷惑をかけるからと色々な活動に参加することに消極的になり家で一人で過ごすことが多くなった。そんな方が気軽にきて笑顔で話することができる居場所づくりのために始まりました。居場所ができて1年以上たち今では女性だけではなく男性も参加されたり、まだまだ元気な方の参加もあり賑やかな場所になっています。おしゃべりやトランプゲームはもちろんのこと百人一首や一人一人できることを分担して行う調理も行われています。いつも笑顔が溢れる素敵な集まりの場になっていて、伺うたびに幸せな気持ちになります。



## 地域の集まりの場～リメイクキャンドルワークショップ

2/1 赤井川観光協会主催リメイクキャンドルワークショップが行われました。昨年シーニックナイトで使用したろうそくを回収し、今年のシーニックナイトで使用するため、溶かし好きな形や色に作り上げる素敵なSDGsなイベントでした。イベントは子供から高齢者まで色々な世代が参加されていましたが、中でもデイサービス利用の方が、子供たちと非常に優しい表情で交流していたのが印象深かったと感じました。イベントを通して世代間交流がされていて本当に素敵な空間でした。普段関わることがない世代と交流することによって、お互いの世代の事をわかりあい、顔の見える関係ができ、互いの世代の支え合い・助け合いの輪が広がっていくのかなと感じました。これからは様々な取り組みの中から、支え合い・助け合いの種を見つけ紹介していきたいと思います。

